

第66回高分子年次大会 特別セッション 「高分子・今・未来」

<趣旨>

高分子年次大会も今回で66回目を迎え、高分子学会として高分子討論会ともども一層の充実を図っております。特別セッション「高分子・今・未来」は、学会会員の皆様が参加されて満足できるよう、また、学会のさらなる発展と活性化を目指して、高分子同友会との連携により発足しました。毎年好評のもとに実施し、今回で11回目を迎えます。今回は、社会の変革期にさしかかった現在を、高分子のみならず広い視点から捉え、新しい高分子科学のヒントを得る事をめざし、「融合マテリアル」、「マテリアルズインフォマティクス」、「2030年の自動車に対する高分子の接点」、「高分子材料の医療への展開」、「自己修復材料」などのテーマに焦点を合わせ、同分野を牽引する産官学の講師の先生方に語っていただきます。また、先端化学産業からのメッセージも企画しております。企業研究者から大学生まで、すべての会員の皆様にとって必見の貴重なセッションとなることを確信しておりますので、是非ともご参加ください。

日時 平成29年5月29日(月)～31日(水)
会場 幕張メッセ(〒261-8550 千葉県美浜区中瀬 2-1)
参加申込 第66回高分子学会年次大会参加登録を行なってください。

5月29日(月)

「融合マテリアル: 異種素材の調和から生まれる新材料」

- <10:15～11:00>融合マテリアルの今後の展開と新機能材料創成 (東京大学)加藤 隆史
- <11:00～11:45>有機/無機ナノ融合マテリアルの物性革新と応用展開 (日本大学)原口 和敏
- <12:30～13:00>分子接着と機械的架橋を用いた超分子融合マテリアルの機能化 (大阪大学)高島 義徳
- <13:00～13:30>多孔性材料と高分子とのナノ精密融合 (京都大学)植村 卓史
- <13:30～14:00>融合マテリアルの分子動力学シミュレーション (産総研)灘 浩樹

「マテリアルズインフォマティクス:材料開発の革新」

- <14:00～14:45>マテリアルズインフォマティクス:現状と将来展望 (東レ) 茂本 勇
- <14:45～15:30>Direct Mechanical Characterization of Polymers near Interfaces and Implications for Composites and Material Design (NorthWestern Univ.) L. Catherine Brinson
- <15:30～16:15>構造用高分子材料の実用型最適設計・総合評価支援ツールの開発 (新日鉄住金化学) 藤元 伸悦
- <16:15～17:00>インフォマティクス技術を取り入れた次世代高分子材料設計法の展望(産総研) 森田 裕史

5月30日(火)

「2030年の自動車: 実用化進む新技術と高分子の接点」

- <9:30～10:15>自動車分野における繊維強化材料の取り組み (本田技研) 漆山 雄太
- <10:15～11:00>やわらか素材を多数活用した新しいモビリティ“rimOnO (リモノ)”の狙い (rimOnO) 伊藤 慎介
- <11:00～11:45>強靱高分子複合体による省資源タイヤの実現 (ブリヂストン) 角田 克彦

「先端化学産業からのメッセージ」

- <12:30～13:15>顧客をつかむ研究開発を目指して (三井化学) 福田 伸
- <13:15～14:00>帝人グループの技術開発戦略ー新たな価値創造を通じて、未来の社会を支える会社にー (帝人) 後藤 陽
- <14:00～14:45>海賊と呼ばれるか? 出光興産における研究開発 (出光興産) 鞆津 典夫

5月31日(水)

「再生医療ビジネス: 高分子の役割と材料開発、未来材料への期待と提言」

- <9:30～10:15>再生医療普及への取り組みー産業の果たす役割とはー (富士フイルム) 畠 賢一郎
- <10:15～11:00>再生医療への糖鎖含有高分子の活用ー現状の問題点と今後の展開 (再生医工学バイオマテリアル研究所) 後藤 光昭
- <11:00～11:45>高分子技術からみた再生医療の最前線 (京都大) 田畑 泰彦

「自己修復材料:材料のスマート化」

- <12:30～13:15>自己修復材料の先駆的研究と実用化 (物材機構) 新谷 紀雄
- <13:15～14:00>自己修復性を有する化学架橋高分子材料 (東工大) 大塚 英幸
- <14:00～14:45>自動車塗料用自己修復材料の開発と現状 (住化コベストロウレタン) 桐原 修